

(新)モンゴルにおける環境協力推進事業 10百万円(0百万円)

地球環境局環境保全対策課環境協力室

1. 事業の概要

平成19年1月に第1回日本・モンゴル環境政策対話が行われ、モンゴル自然環境省と日本国環境省との間で環境分野における初めての対話が行われ、「エコツーリズム」に関する協力を推進することで合意。

豊かな自然環境を持つモンゴルは観光が国の主要な産業の一つであるが、年々増加する観光客の受入により、廃棄物の増加や、希少野生動植物の減少など深刻な環境問題に直面しつつある。

このため、日本国内でエコツーリズムの普及・推進を進めている実績・経験を海外で活かし、具体的な協力案件形成調査を行う。

2. 事業計画

モンゴルにおける今後の環境協力案件の具体化に向け、以下の調査・とりまとめを行う。

(平成20年度)

モンゴルにおける観光業の実態把握及び観光客の意向調査

モンゴルにおけるエコツーリズム資源調査とモデル事業対象地選定

(平成21年度)

モデル事業の実施

(平成22年度)

モデル事業の評価と改良、エコツーリズム普及のための取組

3. 施策の効果

日本・モンゴル環境政策対話に基づく協力を発展させることにより、モンゴルの環境保全、観光振興に寄与するだけでなく、モンゴルとの信頼関係を深めることができる。また、「21世紀環境立国戦略」で重点事項として打ち出している「アジアの環境リーダー育成イニシアティブ」にもつながる。

4. 備考

積算内訳：調査費 10百万円